

主な内容

CONTENTS

- ・ 共々生きる「ふしぎな国の天使」……………14
- ・ 地域福祉権利擁護安心ネットワーク事業……………13
- ・ ことども福祉教室開講……………12

みんなで築く
みんなの福祉
みんなの未来(あした)

発行・編集

岡谷市社会福祉協議会
〒394-0081
岡谷市長地権現町
四丁目11番50号

☎ 24-2121

FAX 24-3555

メールアドレス

okasha@alto.ocn.ne.jp

平成17年度

ことども福祉教室 開講!!

心のバリアフリーの第1歩「車いす体験」

5月14日(土)におかや総合福祉センターで第1回目のことども福祉教室が行われました。

開講式の後、お年寄りや体の不自由な方々にとって大切な移動手段である車いすに実際に乗り、動かし、介助を行ってみました。ことどもたちからは、「車いす用のトイレは一般のトイレよりも入り口や、中のスペースが広く介助者と一緒に入れるようになっていて使いやすかった」「自動販売機では最上段のボタンは車いすに乗っている人や背の低い子どもや高齢者では届かないから、低い位置につけてあるといいのではないだろうか」「車いすに乗っているとちょっとした段差でも乗り越えることが大変だった」等様々な意見や感想が出されました。



普段、何も不自由のない生活の中ではなかなか気づくことのできない、大切なことを、体験を通して感じ、気づき、知り、高齢者や

体の不自由な方々の気持ちを考える貴重な機会になったのではないのでしょうか。

町の中で出会ったときに自然に声をかけたり、困っているときには進んで手助けできるきっかけの第一歩となり、また、受講したことどもたちから家庭や学校の先生、友達へと伝わっていくことを願っています。



「車いす使用者用駐車場」を みんなで守りましょう!!

車いすを使用する人にとって幅は重要な問題です。車いすを使用していない人が「建物に近くて便利だから」「幅が広くて止めやすいから」といった理由で駐車してしまうのは困りますね。

あれは車いす使用者用駐車場よ。車いす使用者が車から乗降しやすいように他の駐車スペースより幅が広くなっているのよ。



ねえ、あそこの駐車場にある車いすマークはなあに?

車いす使用者が安心して外出するためには、専用駐車場を整備するだけでなくみんなの思いやりの心と気配りが不可欠です。



「地域福祉権利擁護安心ネットワーク事業」

高齢者や障害者の方々が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などにかかわる相談や援助をし、その方の生活を支援する事業です。

安心してご相談、ご利用ください。

利用対象者

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な方で、福祉サービスの利用や利用料の支払いなど、自己判断で適切に行うことが困難であると認められる方。

援助内容

①福祉サービスの利用援助

- ・福祉サービスを利用、または利用を止めるために必要な手続き
- ・福祉サービスの利用料を支払う手続き
- ・福祉サービスについて苦情解決制度を利用するとき

②日常的金銭管理サービス

③書類などの預かりサービス

*ただし②③のサービスは①の福祉サービスの利用援助に付随したのになりますので、金銭管理・書類などの預かりサービスだけの利用はできません。

このごろ物忘れが
ひどくて、福祉サービス
の利用料の支払いを
忘れちゃうのよね



相談・問合せ

社会福祉協議会

☎ 24-2121 ・ ☎ 24-3555

利用料 1時間あたり 1,000円 交通費 1kmあたり 20円
(書類などの預かり料金は実費相当分が必要となることもあります)

社会福祉協議会が提供する 福祉サービスに関する 意見・要望・苦情など

社会福祉協議会は、みなさんに常に気持ちよくサービスを利用していただくために、本会が提供する事業に関する意見・要望・苦情などをお聞きし、サービスの質の向上に努めます。いつでもお気軽にお申し出ください。

事業所名 (社) 岡谷市社会福祉協議会

連絡先 〒394-0081

岡谷市長地権現町4-11-50

☎ 24-2121 ・ ☎ 24-3555

○事業所の担当職員に直接ご相談ください。

苦情解決責任者 北袋寿雄 (事務局長)

苦情受付担当者 古畑福和 (次長)



お気軽にお寄せください

●事務所の職員に言いづらい場合は第三者委員にご相談ください。

第三者委員 横内 良一 ☎ 23-7088

小口 恒久 ☎ 22-7414

宮坂みや子 ☎ 23-3920

●介護保険制度のサービスを受けている方は、
介護福祉課 (内線1283)、または長野県国民健康保険団体連合
会 (〒380-0871 長野市大字西長野宇加茂北143-8 ☎026-
238-1580 ☎026-238-1560) でも受け付けています。

●県でも苦情相談、解決のためのあっせんを行っています。

長野県福祉サービス運営適正化委員会

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号

(長野県社会福祉総合センター内)

苦情受付 ☎ 0120-28-7109

委員会事務局 ☎ 026-226-2210

☎ 026-291-5180

E-mail fukushi7109@nsyakyou.or.jp

初心者対象点字講習会 受講者募集!!

点字・点訳の基礎を学習し受講後は点訳活動を継続できる意欲のある方を募集します。

- 月 日** 7月4日、18日 8月1日、22日
9月5日、19日 10月3日、17日（毎月曜日）
- 時 間** 午後7時～8時30分
- 場 所** カルチャーセンター（イルフプラザ3階）第1研修室
- 対象者** ・点字を初めて習う方
・以前に点字を習ったことがあるが、さらに学びたい方
・受講修了後も点字サークルで学習活動を継続できる方

- 定 員** 10人
- 受講料** 500円
※別途テキスト代 1,050円
- 講 師** 岡谷点字サークル会員
- 申込み** 社会福祉協議会
☎24-2121

共に生きる

私たちの地域には様々な人が生活しています。大人、子ども、女性、男性、障害を持つ方、外国人など、すべての人が生き生きとその人らしく安心して暮らせるまちが理想です。

今回から、自閉症のお子さんを持つお母さんの手記「ふしぎな国の天使～わが家の自閉症児～」を掲載します。まだまだ、理解され難い自閉症ですが、できるだけ多くの方に知っていただき、自閉症の方が自然に受け入れられる社会になることを願っています。

ふしぎな国の天使

～わが家の自閉症児～ No.1

伊藤 智子

我が家の12歳の息子は自閉症です。「自閉症」という言葉を、聞いたことがあるでしょうか。

言葉のイメージから、自分の殻に閉じこもり部屋の隅にじっとしているような印象を受けるかもしれませんが、自閉症は、脳の中枢神経になんらかの先天的な問題がある脳の発達障害です。

これまで息子を育ててきた過程は、このユニークで、それでいて一筋縄ではない障害に悪戦苦闘の毎日でした。息子の雄輝は、たくさんのこだわりと、言葉はオウム返しで抑揚のあるいいまわし、聴覚が敏感でヘッドホン（工事現場用防音具）が手離せません。私たちとの違いは「五感」といわれる全ての感覚をつかさどる機能がうまく働いていないようなのです。コミュニケーションについては、我が子ながら戸惑うばかりで、特に小さい頃はおもちゃにも興味を示さず、呼びかけにも聞こえていないようにポーカフェイス。私に甘えて抱きついてくるわけでもなく、視線も合わせない。いつも自分の手をヒラヒラさせて、その指をみつめていたり、ヒモをクルクル廻したりしていることが好きでした。まわりから見たら奇妙な行動でも本人にしてみたら気持ちを落ち着かせるためのことで、症状のひとつなのだそうです。そんな毎日は、まるで不思議な国へ迷い込んだようです。



▲家の中でも外の音が気になります

自閉症には、独自の共通した障害特徴がありますが、その特徴の現れ方には個人差があります。程度の差はあるけれど知的発達の面で遅れをもつ子が多いようです。

代表的な行動パターンとして・・・

- ・こだわりが強く、習慣、環境などが変わるのが苦手
- ・コミュニケーション障害
- ・オウム返し（呼びかけられた言葉をイントネーションごとそのまま言い返す）
- ・常同反復的行動（奇妙な繰り返し行動）等があります。

次回は「こだわり」についてお話したいと思います。

介護者サロンなごみ

介護をされている仲間同士、何でもどんなことでも話し、サロんでなごみましょう。

日時 6月28日(火) 午前10時～午後3時
場所 おかや総合福祉センター [諏訪湖ハイツ]
問合せ 社会福祉協議会 ☎24-2121

※お昼にはおいしいそうめんを用意します



4月の「なごみ」は桜の花を見に行きました。足湯につかりながらのおしゃべりに心も体もリフレッシュ!!

源泉ポンプ取替え工事のため 諏訪湖ハイツ温泉施設を 休業します

6月29日(水)・30日(木)

◆なお、生涯学習施設は平常どおり
開館します

募集

障害者の方を対象にしたIT講習会の企画を募集しています。「こんな講座があったらいいな」と思ったら社協へ。応募された企画を参考に障害者IT講習会を開きたいと思えます。

応募先 社会福祉協議会 ☎24-2121
FAX 24-3555

西堀地区社会福祉協議会

～笑顔ひろがる配食サービス～

平成11年より83食から始まった配食サービスも7年目となり、今年度の第1回目は、福祉推進員の皆さんが安否確認をしながら165食をお配りしました。

また、「ふれあい会」のボランティアのみなさんは、限られた予算の中で季節にふさわしい献立を考え、お年寄りのみなさんに喜んでいただきたいと、彩り、調理法など工夫し、心を込めたお弁当を作っています。

年3回の配食サービスを利用されているお年寄りにも好評で、推進員さんが見えるのを玄関で待っている方もいます。明るく言葉を交わし合う様子は、作る人、配る人、利用される方との温かい心の輪のひろがりを感じます。



腰の具合は
いかがですか？

おかげさまで
散歩ができるよう
になりました。



▲手際よくお弁当を詰めるふれあい会のみなさん

新緑が美しい季節となりました。
皆様お変わりございませんか。
今年度第一回目のお弁当の
献立でございます。

一主食 炊き込みご飯
一主菜 鯖の旨煮付け
一副菜
落と高野豆腐の炊き合わせ
白和え 香の物

一同、心を込めて作らせて
いただきました。
尚、できるだけお早めに
お召し上がりくださいませ
ようお願いいたします。

ふれあい会一同

▲手紙を添えてお届けしました